

単元名：

武士の台頭と鎌倉幕府

(全5時間扱い中 第4時)

授業日時 2019年9月12日(木) 第2校時

授業学級 1年D組

授業会場 1年D組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

農業・手工業・交通の発達や貨幣の流通によって各地で定期市が開かれたことを追究することができる。

(2) 授業のポイント

- ・鎌倉幕府がどのようにして続いていったのかを理解した子どもたちが、鎌倉時代の人々がどのような暮らしをしているのかを学ぶ。
- ・鎌倉時代になったことで地方では、なぜ定期市が各地で行われていたのかについて産業がどのような場所でどのように発展していったのかに着目し、資料を読み取る。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. ○日市の地名の資料から学習問題を設定する。	○「なんで鎌倉時代に各地に定期市が出てきたんだろう」 ★導入資料 ◇日本地図で地名を示し、鎌倉時代になって地方で定期市が行われ、西日本に偏っていることをつかむ。	8
	【学習問題】なぜ、定期市が西日本の各地で行われるようになったのだろう。		7
	2. 学習問題に対しての予想を発表し、追究の見通しを持つ。	○「なぜ、定期市が西日本の各地で行われるようになったのだろう。」 ◇「物がたくさんとれた、作った」等の産業、「物が集まった、交通の便がよい」等の交通の発言を広げる。	
	【学習課題】西日本の産業と交通の発達に着目して、調べよう。		
展開	3. 個人で予想を明らかにするための資料を読み取り、わかったことをまとめる。	○「資料を基に、西日本での産業と物流の発達に着目して読み取りましょう」 ◇どのような産業が発達していったのか、場所とも関連付けて考えられるように机間指導を行う。	15
	4. 資料を読み取り、わかったことを発表する。	○「資料から読み取れたことを発表してください」 ◇農業・手工業・物流のそれぞれの項目でまとめ、つなぎ合わせて板書を行う。 【評価】地方では、農業・手工業・交通の発達によって商品が登場して広がり、宋銭の浸透によって定期市が行われるようになったことを説明することができる。(ワークシート)	15
終末	5. 今日の学習を振り返り、わかったことをまとめる。	○「学習問題に対する自分の考え・まとめを書きましょう」	5